北海道バーバリアンズ7sトーナメント大会 参加報告 2023年

日時：令和5年7月7日（金）～9日（日）会場：北海道バーバリアンズ定山渓グラウンド

平素は鹿児島女子ラグビーチームの活動へのご理解ご協力ありがとうございます。
上記の日程で北海道札幌市の北海道バーバリアンズ定山渓グラウンドで開催された第10回北海道バーバリアンズ7sトーナメント大会に参加してきました。今年度開催される特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま大会まで100日を切り、今大会より鹿児島県強化指導員の青木蘭選手も本格的にチームに合流してくれました。その他普段は県外チームに所属してプレーをしているふるさと選手も一部集まり本大会へ向けた夏季練習のチームスタートとなる遠征となりました。

女子の部はオーストラリア代表レベルのチームや太陽生命カップウィメンズシリーズへ参戦しているチームを中心に構成され、普段なかなか対戦することが出来ない強豪チームと試合をする絶好の機会となりました。鹿児島女子チームは現時点での自チームの立ち位置を知ることが出来たこと、選手がお互いにプレー特徴を知ることが出来たこと、これからの課題を見つけることが出来たこと等とても有意義な時間となりました。次週以降合宿や強化試合、練習会を予定しており、これから更にチームとして時間を積み重ねて本大会へ向けて前進していきます。

以下簡単ではありますが遠征の様子報告いたします。

参加メンバー（順不同）

	名前	所属先
1	中野　優香	自衛隊体育学校
2	青木　蘭	横河武蔵野Altemi-Stars
3	岸本　彩華	東京山九フェニックス
4	福岡　花恋	鹿児島女子チーム
5	岡　真里奈	鹿児島大学
6	大山　梨里	日本経済大学
7	鬼塚　歩	ナナイロプリズム福岡
8	垂門　奈々	日本経済大学
9	平田　恋菜	ナナイロプリズム福岡
10	野間　小桜	鶴丸高校
11	中村　花	川内高校
12	福永　明日香	明桜館高校
13	竪山　香子	トレーナー
14	山崎　修平	監督
15	松田　強	スタッフ
16	森下　大輔	スタッフ

女子予選 プール A

	YOKO HAMA	北海道ＢＢディアナ	鹿児島女子選抜
YOKOHAMA TKM		⑦ メイン 14:00	① メイン 10:40
北海道ＢＢディアナ	⑦ メイン 14:00		④ メイン 12:20
鹿児島女子選抜	① メイン 10:40	④ メイン 12:20	

女子予選 プール B

	オーストラリアA	Brave Louve	立正大学女子ラグビー部
オーストラリアA		⑧ メイン 14:20	② メイン 11:00
Brave Louve	⑧ メイン 14:20		⑤ メイン 12:40
立正大学女子ラグビー部	② メイン 11:00	⑤ メイン 12:40	

女子予選 プール C

	PEARLS	ナナイロプリズム福岡	アザレア・セブン
PEARLS		⑨ メイン 14:40	③ メイン 11:20
ナナイロプリズム福岡	⑨ メイン 14:40		⑥ メイン 13:00
アザレア・セブン	③ メイン 11:20	⑥ メイン 13:00	

男女共通順位付けプロトコル

予選勝ち点制 ------ 勝ち　3
------ 引き分け　2
------ 負け　1

勝ち点同じ場合の順位付け及びプール同順位の順位付け
------ 1. トライ数
------ 2. トライ後のコンバージョン数
------ 3. 得失点差

女子決勝トーナメント

⑩ メイン 11:20
⑤ メイン 10:20
② サブ 9:20
① サブ 9:00
B1位
2位中1位
C1位
2位中2位
A1位
⑥ メイン 10:40
⑨ サブ 11:40
女子コンソレーション

（ボウルトーナメント）

⑧ サブ 11:20
③ サブ 9:40
④ サブ 10:00
2位中3位
B3位
C3位
A3位
⑦ メイン 11:00
女子コンソレーション

予選プール　第1試合

鹿児島		TEAM	YOKOHAMA TKM	
2nd	1st	得点	1st	2nd
0	1	T	2	3
0	0	G	2	1
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
0	5	計	14	17
5		total	31	

予選プール　第2試合

鹿児島		TEAM	北海道BBティアナ	
2nd	1st	得点	1st	2nd
1	0	T	4	2
1	0	G	3	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
7	0	計	26	14
7		total	40	

予選プールはYOKOHAMA TKMさんと北海道BBティアナさんとの三つ巴。両チームとも太陽生命ウィメンズシリーズのコアチームとしてこの数年闘っている強豪チーム。このチームでの初試合となったYOKOHAMA TKMさんとの試合で先制したのは鹿児島女子チーム。敵陣で得たPKから左へ展開しオフロードパスが２つ繋がり最後は平田選手がトライ。その後1本トライを取り返されるも5-7で前半終了を告げるホーンが鳴る。その時点でPKを獲得していた鹿児島チームはタッチキックを選択し果敢に得点を取りに行くチャレンジした。結果的にはターンオーバーされ追加点を許すこととなったが、攻撃的な姿勢でチャレンジするマインドは今チームが向かう先に光が差していることを感じさせた。第2戦は北海道バーバリアンズティアナさんとの対戦。体格差が大きい相手の強力なランナーを止めるのに人数を要しプレッシャーを受けた。それでも中野選手や垂門選手を中心に身体を張ったタックルや青木選手が素早いリロードから何度もプレッシャーをかけ続けたり随所に良いプレーが見られた。大会1日目は2戦2敗という結果となったが選手個々は今できるプレーを全力で取り組んだことでチームメイトの特徴も確認でき有意義な時間となった。

の花薬局

北海道バーバリアン

KAGOSHIMA

ボウルトーナメント 1回戦

鹿児島		TEAM	ナナイロプリズム福岡	
2nd	1st	得点	1st	2nd
3	0	T	3	2
2	0	G	3	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
19	0	計	21	14
19		total	35	

ボウルトーナメント コンソレーション

鹿児島		TEAM	アザレア・セブン	
2nd	1st	得点	1st	2nd
1	0	T	2	3
1	0	G	1	3
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
7	0	計	12	21
7		total	33	

前日の結果を受けボウルトーナメントへ進出した鹿児島女子チーム。1回戦の対戦相手はナナイロプリズム福岡さん。前日の2試合を経て選手間のコミュニケーションも活発になった鹿児島女子チームは、前半多くの時間を相手陣で闘いプレッシャーをかけることが出来た。しかしナナイロプリズム福岡さんは一枚上手でディフェンスの綻びを突いてラインブレイク。長い距離を走り切られ前半を0-21のスコアで折り返す。ハーフタイムも選手同士で「今できることをやりきろう」と後半へ。チャレンジする姿勢を確認した鹿児島女子チームは後半開始早々のプレーから仕掛ける。キックオフボールを確保すると素早いパス回しから鬼塚選手がラインブレイク。大きく前進してできたラックサイドを平田選手が鋭いステップで切り裂き反撃のトライ。その後すぐに1トライ返されるも攻撃的な姿勢を保ちどんどん前に仕掛ける鹿児島女子チームは2トライを追加し追い上げたが最後は及ばなかった。今大会の最終戦はアザレア・セブンさんで鹿児島女子チームにも今後合流予定の迫田選手所属のチームとの対戦となった。試合はその迫田選手の素晴らしいランからの2トライを含む5トライを取られ敗戦となったが、局面局面では繋がりのある攻撃や防御が多々みられた。

【文責】　鹿児島県強化委員　森下大輔